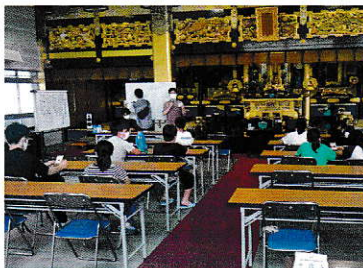


# SDGs なひととき — 天然プール江津湖 —



八月四日に「夏の寺子屋子ども会」を三年ぶりに開催しました。コロナ禍により二年間中止となりました一泊二日の夏休みの子ども会でしたが、今回は日帰り日程にすることによって、開催できました。

今年は今までより若干参加者

が少なくなりましたが、お手伝いのお兄さんお姉さん達も一緒に元氣いっぱい過ごしました。

今回は自然豊かな江津湖に向かい、水遊びをしました。まさに天然プールのような冷たい水でさっぱりしてリフレッシュできました。

お寺に帰ってきてからは、バーベキューで焼かれた食べ物やカレーやかき氷をいただき、本堂でゲームをして解散しました。中高生のみならず、お手伝い誠にありがとうございました。

対象者の子どもさん達は本来、お寺で泊まるのが楽しみな夏休みの子ども会でしたので、いつかまた一泊できるような子ども会が復活できたらと思います。



季刊

# 覚法寺

〒862-0956  
熊本市中央区水前寺公園 1-25  
電話 (096) 383-4874  
FAX (096) 383-3050  
kakuhouji@eagle.ocn.ne.jp  
<http://www.facebook.com/kakuhouji>

お問い合わせ  
参拝部：電話 (075) 371-5181  
覚法寺：電話 (096) 383-4874



©2010 熊本県くまモン  
熊本県 SDGs 登録事業者

## 住職雑記

先般ある記事で、ママさんたちが集まり計算して作り出した「親子で過ごす残り時間」が話題になりました。▼母親は7年6ヶ月(約65,700時間)、父親は3年4ヶ月(約29,200時間)だそうです。幼稚園保育園卒園した時点で既に三割を消化。小学校を卒業した時点で五割を消化。高校を卒業した時点で七割を消化。▼さらに18歳で親元を離れると、残り時間は極めて少なくなり、盆と正月ぐらいしか帰ってこなくなり、帰ってきても一緒にいる時間は一日約4時間分と計算し、盆に3日分、正月に3日分で、4時間×6日分、一年間でわずか24時間分となります。▼しかし人生とは平均寿命まで生き永らえるなどという保証はどこにもない訳であります。老少不定という言葉がありますが、老若男女いつこの世との縁が切れるかわからないのが人生であります。予想以上に、更に短くなるやもしれません。▼日々是好日という言葉がありますが、この極意は全てを良きに捉えて、あるがまま受け入れることにあり、いつもが今生最後のご縁であると思っ

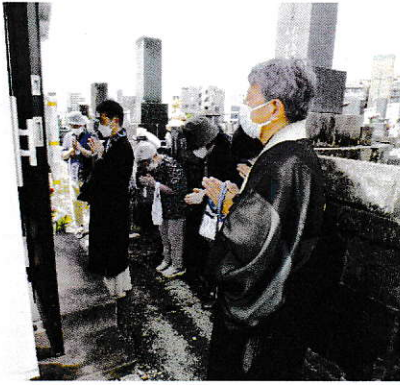
て日々その瞬間を大切に過ごしたいものです。

歡喜会・盂蘭盆会法要

八月十六日(火)、十時から、京塚墓地の覚法寺納骨所にて、お勤めをして、午後一時からは、覚法寺で歡喜会・盂蘭盆会法要のお勤めをいたしました。

ご講師は菊陽町浄念寺の城弘教先生でした。

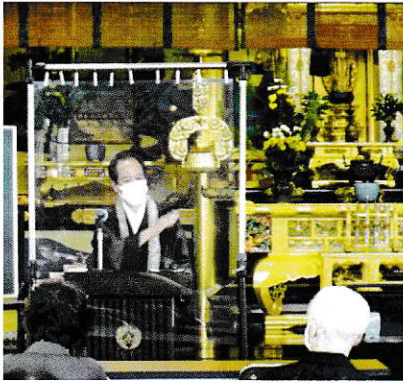
今年もコロナの第七波の真っ只中のため、お寺の者も参拝者の方々も、暑い中マスクを着け、感染予防に気を付けながらのお勤めでした。



京塚墓地の納骨所でのお勤め



暑い中、20名程のお参りでした



菊陽町浄念寺の城弘教先生



マスクを着けてお勤めします

最後のお寺ステイ

東日本大震災から十年が経ち、もともと昨年予定でしたがコロナ禍で開催できず、今年も春は開催できず、夏休みは開催できそうとなり、最後の「お寺ステイ」のホームステイ寺院としてお迎えいたしました。

これまで十年の間に沢山のご家族や、子どもさん達のグループをお迎えして参りました。十年が経ちステイ事業の方は終了となりましたが、地元ではまだまだ、困難な事や解決すべき事柄は残っています。



本堂にて



イルカウォッチングに行きました

# 熊本仏教壮年会

十月三十日(日)熊本城ホールにおいて、仏教壮年熊本大会(九州地区門信徒の集い)が開催されます。

## 講師プロフィール

記念法話・藤岡教顕さん

球磨郡湯前町明導寺住職。本願寺派布教使。

寺院が門前に掲げる言葉のコンテスト「輝け!お寺の掲示板大賞2020」において「コロナよりも怖いのは人間だった」がグランプリを受賞。「令和2年7月豪雨」の発災以来、多方面にわたり支援活動を継続中。復興支援目的で商品化された「明導寺掲示板一筆箋」は6000部を売り上げ、利益分すべてが被災地へ届けられている。

記念講話・稲場圭信さん

大阪大学大学院教授(人間科学研究科・共生学)

1969年生まれ。東京大学卒業、ロンドン大学大学院卒業、博士号(宗教社会学)取得。主な研究テーマは、宗教の社会貢献、防災・災害時協力、利他主義、チャリティ。

## 覚法寺仏教婦人会

# 蓮華の会だより



私達の主な活動・・・(夏より初秋へ)・・・

国の見直しにより新型コロナ感染者の療養期間が短縮されましたが、終息の目処が立たずまだまだ感染予防対策が必要です。例会の方も新型コロナと向き合いながら活動を進めております。



○コロナの為 休会



○夏の子ども会 (4日)  
約20名の小学生・中高生(お手伝い)の子ども達と一緒に江津湖に行ったりSDGsを学んだりおやつ(BBQやかき氷)を食べて楽しい時間を過ごしました。

○盂蘭盆会法要 (16日)  
【ご講師】浄念寺 城弘教師



○蓮華の会 (16日)  
小山和作先生(元日本赤十字社熊本健康管理センター所長)によります講演会。婦人会以外の方々も参加されました。

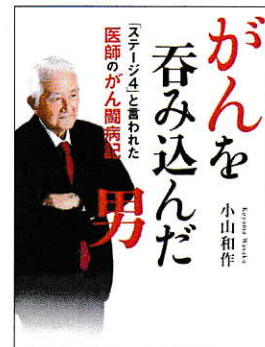
○23日~24日  
秋季彼岸会・永代経法要が本堂にて勤修されました。  
【ご講師】覚円寺 黒田了智師  
※コロナ禍によりお昼のお齋は中止となりました。



講演会の様子



講演会の最後に



小山和作先生 著書

ペットボトルキャップ回収活動

覚法寺SDGs(持続可能な開発目標)

覚法寺では、捨てられるペットボトルキャップを集めて、CO2削減と尊い命を救う活動を始めました。860個で、ポリオワクチン一人分です。どうぞ、ご協力をお願い致します。ペットボトルキャップは、捨てずには非覚法寺までお持ちください。お参りの際に、法務員に預けて頂いても結構です。

使用済み天ぷら油回収にご協力ください



本願寺新報8月号に掲載されました

十月からのお勤め(晨朝)の時間が七時になりました。

「新納骨堂」のご案内

来年の夏頃から着工の予定です。覚法寺会館を取り壊した後、新築をいたしますので、完成は再来年になるかと思いますが、現在仮申し込みを受付中です。来年になってから、正式な申し込みを受付開始する予定です。

標準型が一五〇万円、小型のロッカー型が三〇万円です。仮申し込みをされますと、標準型は一二〇万円となります。維持管理費が年間五千元です。



本堂に見本を展示しています

覚法寺ティッシュ新デザイン



大谷昭子さん(中2)作

どうぞお参りください

報恩講法要

十一月二十二(火)、二十三(水)日、覚法寺本堂において報恩講法要をお勤めいたします。ご講師は宇城市正善寺の川田晃映先生です。今年も二日間の日程です。お斎は中止ですが、お持ち帰りに粗飯やお茶菓子を用意いたします。

元旦会法要 初詣

令和五年一月一日(日)午前七時より本堂で正信偈のお勤めがあります。引き続き納骨所にて一座法要。お屠蘇のご接待は中止です。

御正忌報恩講

令和五年一月九日(月)より十六日(月)まで、京都の本願寺で御正忌報恩講がとまります。

毎月16日7時(宗祖親鸞聖人の御命日)お寺に参ろう。門信徒総参拝

趣味の写真集や自分史を作ってみませんか?  
1冊よりお作り致します。

PRINTING&COPY  
株式会社 太陽社

●企画印刷 ●一般印刷物 ●カラーコピー ●データ入力

〒862-0972 熊本市中央区新大江2-5-18  
TEL 096-366-1251 FAX 096-364-7672

http://www.taiyo-sha.net

寺院仏具修復・納骨堂設計・施工  
(宗教用具専門店) 仏壇・仏具・修復・修理

お仏壇の 合掌

〒860-0073 熊本市西区島崎5丁目4-37 (三軒屋バス亭前)

TEL FAX 096 (359) 7720